

(様式第 10)

秋大医医第 252 号
平成 27 年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

秋田大学医学部附属病院長
羽 淵 友 則

秋田大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒010-8502
氏 名	国立大学法人秋田大学長

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

秋田大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒018-8543 秋田市広面字蓮沼 4 4 番 2	電話 (018) 834-1111
-------------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1. 消化器内科 2. 神経内科 3. 循環器内科 4. 呼吸器内科 5. 血液内科 6. 腎臓内科 7. リウマチ科 8. 糖尿病・内分泌内科 9. 老年内科 10. 腫瘍内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1. 消化器外科 2. 呼吸器外科 3. 食道外科 4. 乳腺・内分泌外科 5. 心臓血管外科 6. 小児外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	7産婦人科
⑧産科	⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科	⑬放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 歯科口腔外科	
歯科の診療体制 本院は歯科口腔外科を標榜し、歯科医師9名を有する特定機能病院として歯科医療を提供している。	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1. リハビリテーション科 2. 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
36床	床	床	床	577床	613床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	316人	27人	327.3人	看護補助者	51人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	0人	10人	理学療法士	4人	臨床検査技師	41人
薬 剤 師	30人	0人	30人	作業療法士	1人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	1人
助 産 師	30人	0人	30人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	635人	13人	645.1人	臨床工学士	13人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	1人	2人	2.5人	栄 養 士	0人	その他の技術員	20人
歯科衛生士	1人	1人	1.5人	歯科技工士	2人	事務職員	145人
管理栄養士	6人	0人	6人	診療放射線技師	26人	その他の職員	18人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	6人	眼科専門医	7人
外科専門医	24人	耳鼻咽喉科専門医	8人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	8人
小児科専門医	13人	脳神経外科専門医	9人
皮膚科専門医	10人	整形外科専門医	14人
泌尿器科専門医	13人	麻酔科専門医	9人
産婦人科専門医	15人	救急科専門医	2人
		合 計	146人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	496.2人	11.0人	507.2人
1日当たり平均外来患者数	979.1人	50.3人	1,029.4人
1日当たり平均調剤数			830.3剤
必要医師数			111人
必要歯科医師数			5人
必要薬剤師数			17人
必要(准)看護師数			291人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	889.98m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	病床数	16床	心電計	○・無
			人工呼吸装置	○・無	心細動除去装置	○・無
			その他の救急蘇生装置	○・無	ペースメーカー	○・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 179.47 m ² (病室内トイレ面積含まず) [移動式の場合] 台数 台		病床数	11床		
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 222.80 m ² [共用室の場合] 共用する室名		服薬指導推進室, 薬剤師室, 薬務室, 洗浄室, 薬品測定室			
化学検査室	246.36m ²		(主な設備) ディスクリット方式臨床化学自動分析装置, 全自動血液分析装置			
細菌検査室	35.06m ²		(主な設備) 細菌培養同定検査装置, 細菌薬剤感受性検査装置			
病理検査室	227.86m ²		(主な設備) 顕微鏡, 自動免疫染色装置, 凍結組織切片作成装置, 薄切装置			
病理解剖室	65.20m ²		(主な設備) 解剖台, 流し			
研究室	- m ²		(主な設備)			
講義室	354.30m ²		室数	1室	収容定員	268人
図書室	39.43m ²		室数	1室	蔵書数	300冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	74.2%	逆紹介率	69.1%
算出 根拠	A: 紹介患者の数	8,955人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,026人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	737人	
	D: 初診の患者の数	13,060人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
オクトレオチド皮下注射療法	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	63人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	63人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	49人	・原発性胆汁性肝硬変	56人
・全身性エリテマトーデス	200人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	44人
・再生不良性貧血	32人	・混合性結合組織病	34人
・サルコイドーシス	120人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	44人	・特発性間質性肺炎	7人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	115人	・網膜色素変性症	14人
・特発性血小板減少性紫斑病	59人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	39人	・肺動脈性肺高血圧症	10人
・潰瘍性大腸炎	104人	・神経線維腫症	20人
・大動脈炎症候群	24人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	17人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	32人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	35人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	56人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	12人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	93人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	51人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	38人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	12人	・リンパ管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	22人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	11人	・黄色靭帯骨化症	14人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	57人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・新生児特定集中治療室管理料1
・歯科外来診療環境体制加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・歯科診療特別対応連携加算	・小児入院医療管理料2 (プレイルーム加算 算定有)
・特定機能病院入院基本料 (一般 7:1, 精神 13:1)	・
・臨床研修病院入院診療加算	・
・救急医療管理加算	・
・妊産婦緊急搬送入院加算	・
・診療録管理体制加算2	・
・急性期看護補助体制加算	・
・看護職員夜間配置加算	・
・看護補助加算2	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1 (感染防止対策地域連携加算 算定有)	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・データ提出加算1・2	・
・特定集中治療室管理料4 (小児加算 算定有)	・

・磁気による膀胱等刺激法	・膀胱水圧拡張術
・一酸化窒素吸入療法	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・歯科技工加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術
・網膜再建術	・手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）	・輸血管理料Ⅱ
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・経皮的冠動脈形成術	・自己生体組織接着剤作成術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・内視鏡手術用支援機器加算
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・歯周組織再生誘導手術
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの）	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術	・麻酔管理料（Ⅰ）
・大動脈バルーンポンピング法（IABP法）	・麻酔管理料（Ⅱ）
・補助人工心臓	・放射線治療専任加算
・植込型補助人工心臓（非拍動流型）	・外来放射線治療加算
・経皮的な大動脈遮断術	・高エネルギー放射線治療
・ダメージコントロール手術	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下肝切除術	・画像誘導放射線治療加算（IGRT）
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・定位放射線治療
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・同種死体腎移植術	・病理診断管理加算 2
・生体腎移植術	・クラウン・ブリッジ維持管理料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	12回
剖検の状況	剖検症例数 31例 / 剖検率 10.00%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
各種遺伝子改変マウスを用いた急性膵炎発症関連SNARE蛋白の同定と機能解析	大西 洋英	第一内科	1,040,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
急性膵炎発症の分子メカニズムの解明と新たな膵炎治療法の開発	真嶋 浩聡	第一内科	1,170,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
NASH発症におけるマクロファージの役割と治療への応用	三浦 光一	第一内科	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
血管不全における内皮イオンチャネルリモデリングの解明と治療への応用	渡邊 博之	第二内科	1,690,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
心臓リハビリテーション困難患者に対する新規非薬物心不全治療の開発	飯野 健二	第二内科	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
肺癌に対する抗VEGF治療に血管内皮前駆細胞が及ぼす影響に関する検討	佐藤 一洋	第二内科	1,430,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
多発性骨髄腫に対する新規薬剤療法のTDMの開発	高橋 直人	第三内科	2,080,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
悪性リンパ腫の治療分子標的となるmicroRNAの同定	田川 博之	第三内科	1,170,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
骨髄腫SP細胞で特異的に異常発現するmicroRNAの同定	亀岡 吉弘	第三内科	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ヒト芽球の脱核における細胞極性決定機構の解明	鵜生川 久美	第三内科	1,820,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
KSRPを標的としたmiRNA制御薬としてのクルクミンアナログの作用機序	柴田 浩行	腫瘍内科	1,950,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
消化管因子による精子・卵子膜融合調節:新しい男性不妊症治療ストラテジーへの萌芽	山田 祐一郎	老年科	1,820,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
GLP-1/DPP-4の腎臓内シグナル伝達機構の解明と糖尿病性腎症の治療への応用	藤田 浩樹	老年科	2,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
心血管疾患発症を予測する新たな尿マーカー検出のための地域コホート研究	成田 琢磨	老年科	1,170,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
肝細胞内新規イオンチャネルの相互作用解明を基軸とした残肝増殖能への介入を目指して	吉岡 政人	第一外科	1,430,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
門脈内急速投与によるオリゴヌクレオチド肝導入方法の確立	渡辺 剛	第一外科	2,470,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
迅速免疫組織染色装置を用いた肺腫瘍の術中自動病理診断法の開発	南谷 佳弘	第二外科	2,210,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
リンパ節転移抑制剤開発による新規固形癌治療戦略	本山 悟	第二外科	1,690,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
感温性磁性体と薬剤含有基剤を併用した新しい温熱化学療法	齊藤 元	第二外科	1,690,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
癌リンパ節転移を惹起する免疫逃避機構メカニズムの解明	今井 一博	第二外科	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

小計 20

放射線感受性因子核酸注入による放射治療の開発	吉野 敬	第二外科	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
REG1Aが化学放射線療法感受性マーカーとして働くメカニズムの解明とその増感誘導	佐藤 雄亮	第二外科	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新規活性化型ビタミンD3製剤による筋疲労抑制メカニズムの解明	宮腰 尚久	整形外科	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨軟部悪性腫瘍における核内受容体を介した腫瘍関連遺伝子発現の解析	永澤 博幸	整形外科	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
眼圧下降以外の緑内障治療薬の開発に関する基礎的、臨床的研究	吉富 健志	眼科	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
グルタミン酸輸送体を賦活化し網膜神経節細胞を加圧傷害から防御する	石川 誠	眼科	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト体外培養系での胚内部細胞塊分裂の実体検証:より生理的な胚盤胞培養系の基礎検討	寺田 幸弘	産科婦人科	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
子宮体癌におけるCRP単一塩基多型とリンパ管侵襲・リンパ節転移との関連	藤本 俊郎	産科婦人科	2,080,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト卵子における減数分裂制御蛋白の個体加齢による発現量変化に関する研究	白澤 弘光	産科婦人科	1,690,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
早産リスク評価における、エラストグラムの有用性の検討	三浦 広志	産科婦人科	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト卵巣奇形腫の発生機転とその臨床応用について	佐藤 敏治	産科婦人科	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
母児免疫寛容のメカニズムに着目した新しい婦人科免疫療法の開発	清水 大	産科婦人科	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
手術時摘出卵巣から得られる各年代のヒト卵子と核移植術を用いた減数紡錘体機能解析	熊谷 仁	産科婦人科	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ヒト卵巣組織の異種移植系を用いた卵子供給システムの構築とaging研究への展開	梶嶋 克哉	産科婦人科	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨芽細胞分化誘導能を有する亜鉛徐放型チタン系フレームワークの創製	福田 雅幸	歯科口腔外科	2,340,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
上皮間葉形質転換能を有する口腔癌幹細胞の同定と癌幹細胞を標的とした新規癌治療開発	中田 憲	歯科口腔外科	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
メカニカルストレスを応用したビスフォスフォネート製剤関連顎骨壊死の病態解明	高野 裕史	歯科口腔外科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
磁気式モーションキャプシステムによる新しい姿勢動態解析への挑戦	石川 和夫	耳鼻咽喉科	520,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
EMMPRINを標的とした頭頸部癌治療法の検討	鈴木 真輔	耳鼻咽喉科	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
頭頸部扁平上皮癌の癌幹細胞マーカーCD44 isoform変化は悪性度を規定する	川寄 洋平	耳鼻咽喉科	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計 20

ゴルジ・小胞体ストレス応答によりもたらされる癌幹細胞自己複製機構の解明	大森 泰文	病理部	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
原発性胆汁性肝硬変マウスの制御性B細胞の分布機能解析とB細胞標的療法最適化の検討	守時 由起	総合臨床教育研修センター	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
精神疾患および嗜眠性脳炎、ナルコレプシーでの抗NMDA受容体抗体脳症の検索	清水 徹男	精神科	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
2次性の過眠症の病態検討とオレキシン脱落による脳内鉄代謝の変化とむずむず脚の検討	神林 崇	精神科	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
2次性過眠症における抗アクアポリン4抗体の関与と髄液中ヒスタミン値の検討	佐川 洋平	精神科	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
むずむず脚・周期性四肢運動障害の合併が多いナルコレプシーでの脳内鉄代謝の検討	菊池 結花	精神科	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
遺伝性疾患により過眠症状を来す病態の解析	今西 彩	精神科	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
活動時マウスにおけるダイナミックな循環調節の解明	佐藤 紳一	精神科	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
末梢循環中セルフリーの核酸解析による泌尿器癌薬物療法抵抗因子の同定	羽瀧 友則	泌尿器科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
包括的脂肪・糖代謝解析による肥満に伴う泌尿器癌進展の分子機序解明と克服	羽瀧 友則	泌尿器科	6,110,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
SNPアレイを用いた前立腺癌の進展関連分子の同定とリスク予測モデルの構築	土谷 順彦	泌尿器科	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
去勢による骨塩量低下は去勢抵抗性前立腺癌の骨転移を促進するかどうかの解明	井上 高光	泌尿器科	2,210,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
高脂肪食摂取下の前立腺癌増殖・進展におけるmicroRNAの役割	成田 伸太郎	泌尿器科	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
腎移植における抗CD20抗体投与後の残存B細胞の臨床的意義	齋藤 満	泌尿器科	2,210,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
長鎖脂肪酸による前立腺癌進展の機序解明ーパルミチン酸とMIC-1の関連ー	黄 明国	泌尿器科	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
前立腺癌でのFAM110Aを中心としたFAM110遺伝子ファミリーの機能と有用性	鶴田 大	泌尿器科	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
癌抑制遺伝子INPP4Bの欠失を基盤とするメラノーマ発生・進展の分子機序	真鍋 求	皮膚科	1,950,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
イノシトールリン脂質PI(3,5)P2産生経路の破壊による壊疽性膿皮症の発症機序	蓮沼 直子	皮膚科	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
全身麻酔後認知機能障害の防止策の探究	西川 俊昭	麻酔科	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ATP感受性カリウムチャネル開口薬と $\alpha 2$ 受容体作動薬の併用療法による脳保護効果	佐藤 浩司	麻酔科	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計 20

虚血性脳傷害における分子状水素投与と脳低温療法の併用効果	長崎 剛	麻酔科	2,210,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
各種局所麻酔薬中毒に対する脂肪乳剤の効果の相違と機序に関する研究	吉本 正志	麻酔科	2,470,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
幼若神経細胞に及ぼす吸入麻酔薬の影響とその対策	合谷木 徹	麻酔科	1,950,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
吸入麻酔薬による術後認知機能低下の機序に関する研究	堀口 剛	中央手術部	910,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
細胞死を伴う好酸球の脱顆粒メカニズムの解明と病態評価への応用	植木 重治	中央検査部	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
抗体エフェクター機能におけるIgG脱糖鎖化を起こす脂溶性因子の作用機序	増田 豊	心療センター	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
電子タグによる内服薬個別管理手法の確立に向けた研究	近藤 克幸	医療情報部	2,080,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ロケーション情報で支援する医療現場に最適化したユーザ認証支援機能	大佐賀 敦	医療情報部	1,950,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
運動療法による脳血管内皮幹細胞活性化の基礎的検討	南條 博	病理部	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
前立腺がん幹細胞でのインテグリンβ4/ErbB2/c-Metシグナリングの解明	吉岡 年明	病理部	1,950,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
胆嚢癌産生exosome中のmicroRNAによる血管新生制御機構の解明	山本 洋平	病理部	2,080,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
次世代がん薬物治療ストラテジーの確立	三浦 昌朋	薬剤部	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
タクロリムス血中濃度測定に加えCYP3A5遺伝子多型解析を行う意味はあるのか?	新岡 丈典	薬剤部	2,080,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
がん治療に関する調査研究	羽瀧 友則		14,410,800	補委	秋田県
「免疫機構をターゲットとした創薬」(制御性T細胞を標的とした新規がん免疫療法の開発)	高橋 直人	第三内科	4,994,000	補委	国立大学法人 大阪大学 免疫学フロンティア 研究センター
リン脂質プロファイルによる悪性リンパ腫新規診断技術の開発と創薬標的分子の同定	田川 博之	第三内科	6,812,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構
「創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立」(大腸がん治療反応性を予測するバイオマーカーの探索)	柴田 浩行	腫瘍内科	1,250,000	補委	国立大学法人 東北大学加齢医学 研究所
65歳以上の高齢者2型糖尿病における、シタグリプチンあるいはグリメピリドによる有効性および安全性に関する比較検討試験(START-J)	成田 琢磨	老年科	54,000	補委	社団法人 日本糖尿病協会
KRAS野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法mFOLFOX6と術前化学療法mFOLFOX6+セツキシマブの第Ⅲ相ランダム化比較試験(研究略称:EXPERT)	山本 雄造	第一外科	108,000	補委	公益財団法人 先端医療振興財団
癌転移の確認に用いるセンチネルリンパ節同定用磁気スキャナーの開発	今井 一博	第二外科	3,497,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構

小計 20

平成26年度医工連携事業化推進事業「自動化による術中高速組織診断のための新型免疫組織染色装置の開発」	南谷 佳弘	第二外科	5,143,375	補委	公益財団法人あきた企業活性化センター
脊椎固定術におけるオーダーメイドテンプレートを用いたスクリュー誘導法に関する臨床研究	菅原 卓	脳神経外科	1,404,018	補委	独立行政法人労働者健康福祉機構 神戸労災病院
イノシトールリン脂質定量解析による泌尿器がんの診断、治療反応、病勢予知	羽瀧 友則	泌尿器科	5,239,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
秋田県不妊専門相談センター事業	寺田 幸弘	産科婦人科	2,970,000	補委	秋田県
女性の加齢と子宮の進展性:管腔臓器として子宮が動き膨らむ機能の定量的評価法の開発	寺田 幸弘	産科婦人科	1,500,000	補委	独立行政法人国立成育医療研究センター
睡眠医療プラットフォームPASMを用いて実施する臨床研究ネットワーク、運用システム、リソースの構築に関する研究	清水 徹男	精神科	750,000	補委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター

合計 86

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Koizumi, S., Jin, M., Matsuhashi, T., Tawaraya, S., Watanabe, N., Sawaguchi, M., Kanazawa, N., Yamada, Y., Onochi, K., Kimura, Y., Ohba, R., Kataoka, J., Hatakeyama, N., Mashima, H., Ohnishi, H.	第一内科	Salvage endoscopic submucosal dissection for the esophagus-localized recurrence of esophageal squamous cell cancer after definitive chemoradiotherapy.	Gastrointest Endosc
2	Watanabe, K., Watanabe, N., Jin, M., Matsuhashi, T., Koizumi, S., Onochi, K., Sawaguchi, M., Tawaraya, S., Miyazawa, H., Uchinami, H., Yamamoto, Y., Nanjo, H., Ohnishi, H., Mashima, H.	第一内科	Mesenteric lymph node abscess due to Yersinia enterocolitica: case report and review of the literature.	Clin J Gastroenterol
3	Sawaguchi, M., Jin, M., Matsuhashi, T., Ohba, R., Hatakeyama, N., Koizumi, S., Onochi, K., Yamada, Y., Kanazawa, N., Kimura, Y., Tawaraya, S., atanabe, N., Suzuki, Y., Mashima, H., Ohnishi, H.	第一内科	The feasibility of endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal cancer in patients with cirrhosis.	Gastrointest Endosc
4	Sakai, T., Mashima, H., Yamada, Y., Goto, T., Sato, W., Dohmen, T., Kamada, K., Yoshioka, M., Uchinami, H., Yamamoto, Y., Ohnishi, H.	第一内科	The roles of interferon regulatory factor (IRF) 1 and IRF2 in the progression of human pancreatic cancer.	Pancreas
5	Ishioka, M., Jin, M., Matsuhashi, T., Arata, S., Suzuki, Y., Watanabe, N., Sawaguchi, M., Kanazawa, N., Onochi, K., Hatakeyama, N., Koizumi, S., Mashima, H., Ohnishi, H.	第一内科	True Primary Enterolith Treated by Balloon-Assisted Enteroscopy.	Internal Medicine.
6	Tawaraya, S., Jin, M., Matsuhashi, T., Suzuki, Y., Sawaguchi, M., Watanabe, N., Onochi, K., Koizumi, S., Hatakeyama, N., Ohba, R., Mashima, H., Ohnishi, H.	第一内科	Advanced feasibility of endoscopic submucosal dissection for the treatment of gastric tube cancer after esophagectomy.	Gastrointest Endosc
7	Yoshida, T., Kamada, K., Miura, K., Goto, T., Ohshima, S., Sato, W., Shibuya, T., Dohmen, T., Kanata, R., Sakai, T., Chiba, M., Fujiwara, J., Sugimoto, Y., Ishioka, M., Hasegawa, I., Takahashi, K., Minami, S., Fujita, A., Hashimoto, M., Ohnishi, H.	第一内科	Successful treatment of hepatocellular carcinoma with lung metastasis using hepatic and bronchial artery infusion chemotherapy.	Intern Med
8	Sato, W., Kamada, K., Goto, T., Ohshima, S., Miura, K., Shibuya, T., Dohmen, T., Kanata, R., Sakai, T., Chiba, M., Sugimoto, Y., Minami, S., Ishiyama, K., Hashimoto, M., Ohnishi, H.	第一内科	Efficacy of Combined Balloon-occluded Retrograde Transvenous Obliteration and Simultaneous Endoscopic Injection Sclerotherapy.	Intern Med
9	Matsuda, M., Hanazono, A., Kamada, S., Okawa, S., Kawasaki, Y., Honda, K., Ishikawa, K., Sugawara, M., Ohnishi, H.	第一内科	Superior orbital fissure syndrome caused by aspergillus infection from maxillary sinusitis.	Neurology and clinical neuroscience
10	Chiba, M., Goto, T., Ohshima, S., Miura, K., Shibuya, T., Sato, W., Dohmen, T., Sekine, M., Kanata, R., Sakai, T., Minami, S., Fujita, A., Ohnishi, H.	第一内科	Acoustic radiation force impulse elastography for the differential diagnosis of liver dysfunction.	秋田医学
11	Sekine, M., Ajimine, T., Fujita, A., Arata, S., Ishioka, M., Minami, S., Matsuzawa, H., Saito, A., Chiba, M., Sakai, T., Kanata, R., Watanabe, N., Dohmen, T., Sato, W., Miura, K., Ohshima, S., Goto, T., Ohnishi, H.	第一内科	Successful treatment of obstructive jaundice in a carcinoma of the papilla of Vater by endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy.	秋田医学
12	Okawa, S., Sanpei, Y., Sugawara, M., Nakazawa, M., Endo, T., Ohnishi, H.	第一内科	Parkinsonism improved with levodopa after endoscopic third ventriculostomy in shunted hydrocephalus due to aqueductal stenosis.	Neurologist
13	Shimbo M, Watanabe H, Kimura K, Terada M, Iino T, Iino K, Ito H	第二内科	Obstructed bi-leaflet prosthetic mitral valve imaging with real-time three-dimensional transesophageal echocardiography.	J Clin ultrasound
14	Tamura Y, Koyama T, Watanabe H, Hosoya T, Ito H	第二内科	Beneficial Effects of Adaptive Servo-Ventilation Therapy on Albuminuria in Patients with Heart Failure.	J Cardiol
15	Koyama T, Sato S, Kobayashi T, Watanabe H, Shimizu T, Ito H, Ono K.	第二内科	Apnea during Cheyne-Stokes-like breathing detected by a piezoelectric sensor for primary screening of sleep disorder breathing.	Sleep Biol Rhythms

16	Kobukai Y, Koyama T, Watanabe H, Ito H	第二内科	Morning Pentraxin3 Levels Reflect Obstructive Sleep Apnea-Related Acute Inflammation.	J Appl Physiol
17	Seki K, Watanabe H, Morita R, Sato K, Asano M, Iino T, Iino K, Ito H	第二内科	Serial changes in Hamman's sign secondary to the evolution of a shallow left-sided spontaneous pneumothorax.	Respir Care.
18	Watanabe H, Iino K, Ito H	第二内科	Subclinical microalbuminuria as a predictor of heart failure prognosis.	Circ J
19	Watanabe H, Nara I, Yamaura G, Iino K, Iino T, Shimbo M, Seki K, Ito H	第二内科	A Blood Balloon induced by an Atrial Myxoma in the Heart.	Circulation
20	Kobayashi H, Sato K, Nioka T, Miura H, Ito H, Miura M	第二内科	Relationship among gefitinib exposure, polymorphisms of its metabolizing enzymes and transporters and side effects in Japanese patients with non-small cell lung cancer.	Clinical Lung Cancer
21	Koyama T, Watanabe H, Ito H	第二内科	Nocturnal Effects of Diurnal Adaptive Servo-Ventilation Therapy in Patients with Heart Failure.	Int J Cardiol
22	Fujita H, Taniai H, Murayama H, Ohshiro H, Hayashi H, Sato S, Kikuchi N, Komatsu T, Komatsu K, Komatsu K, Narita T, Yamada Y	内分泌・代謝・老年内科学	DPP-4 inhibition with alogliptin on top of angiotensin II type 1 receptor blockade ameliorates albuminuria via up-regulation of SDF-1 α in type 2 diabetic patients with incipient nephropathy.	Endocr J
23	Fujita H, Morii T, Fujishima H, Sato T, Shimizu T, Hosoba M, Tsukiyama K, Narita T, Takahashi T, Drucker DJ, Seino Y, Yamada Y.	内分泌・代謝・老年内科学	The protective roles of GLP-1R signaling in diabetic nephropathy: possible mechanism and therapeutic potential.	Kidney Int
24	Mikada A, Narita T, Yokoyama H, Yamashita R, Horikawa Y, Tsukiyama K, Yamada Y	内分泌・代謝・老年内科学	Effects of miglitol, sitagliptin, and initial combination therapy with both on plasma incretin responses to a mixed meal and visceral fat in overweight Japanese patients with type 2 diabetes. "the MASTER randomized, controlled trial".	Diabetes Res Clin Pract
25	Teshima, K., Nara, M., Watanabe, A., Ito, M., Ikeda, S., Hatano, Y., Oshima, K., Seto, M., Sawada, K., Tagawa, H.	第三内科	Dysregulation of BMI1 and microRNA-16 collaborate to enhance an anti-apoptotic potential in the side population of refractory mantle cell lymphoma.	Oncogene., 33(17), pp.2191 - , 2203, 2014
26	Nara, M., Komatsuda, A., Omokawa, A., Togashi, M., Okuyama, S., Sawada, K., Wakui, H.	第三内科	Serum interleukin 6 levels as a useful prognostic predictor of clinically amyopathic dermatomyositis with rapidly progressive interstitial lung disease.	Mod. Rheumatol., 24(4), pp.633 - , 636, 2014
27	Shida, S., Takahashi, N., Nioka, T., Kitabayashi, A., Kawabata, Y., Kume, M., Saitoh, H., Hatano, Y., Ichikawa, Y., Kuroki, J., Motegi, M., Kobayashi, T., Kameoka, Y., Tagawa, H., Fujishima, N., Yoshioka, T., Hirokawa, M., Miura, M., Sawada, K.	第三内科	Treatment of multiple myeloma in Akita: features and outcomes in the era of novel agents.	J. Clin. Exp. Hematop., 54(1), pp.89 - , 93, 2014
28	Shida, S., Takahashi, N., Miura, M., Nioka, T., Matsumoto, M., Hagihara, M., Kobayashi, T., Abumiya, M., Kameoka, Y., Fujishima, N., Tagawa, H., Hirokawa, M., Sawada, K.	第三内科	A limited sampling model to estimate exposure to lenalidomide in multiple myeloma patients.	Ther. Drug. Monit., 36(4), pp.505 - , 509, 2014
29	Abumiya, M., Takahashi, N., Nioka, T., Kameoka, Y., Fujishima, N., Tagawa, H., Sawada, K., Miura, M.	第三内科	Influence of UGT1A1 *6, *27, and *28 Polymorphisms on Nilotinib-induced Hyperbilirubinemia in Japanese Patients with Chronic Myeloid Leukemia.	Clin. Exp. Nephrol., 19(3), pp.411 - , 418, 2014
30	Uehara Y, Inoue M, Fukuda K, Yamakoshi H, Hosoi Y, Kanda H, Oshima M, Iwabuchi Y, Shibata H.	腫瘍内科	Inhibition of β -catenin and STAT3 with a curcumin analog suppresses gastric carcinogenesis in vivo.	Gastric Cancer
31	Komine K, Inoue M, Otsuka K, Fukuda K, Nanjo H, Shibata H.	腫瘍内科	Utility of measuring circulating tumor cell counts to assess the efficacy of treatment for carcinomas of unknown primary origin.	Anticancer Res.

32	Go Watanabe ¹ , Hiroshi Uchinami ¹ , Masato Yoshioka ¹ , Hiroshi Nanjo ² , Yuzo Yamamoto ¹	第一外科	Prognosis analysis of sarcomatous intrahepatic cholangiocarcinoma from a review of the literature.	International Journal of Clinical Oncology
33	Kazuhiro Kudoh ¹ , Hiroshi Uchinami ¹ , Masato Yoshioka ¹ , Ekihiro Seki ² , Yuzo Yamamoto ¹	第一外科	Nrf2 activation protects the liver from ischemia/reperfusion injury in mice.	Annals of Surgery
34	Masato Yoshioka ¹ , Go Watanabe ¹ , Hiroshi Uchinami ¹ , Norihito Ise ¹ , Yasuhiko Nakagawa ¹ , Kazuhiro Kudoh ¹ , Ryo Morita ² , Hideaki Andoh ¹ , Yuzo Yamamoto ¹	第一外科	High-dose corticosteroid therapy for erlotinib-induced interstitial lung disease in Japanese patient with advanced pancreatic cancer.	JOP Journal of the Pancreas
35	Masato Yoshioka ¹ , Go Watanabe ¹ , Hiroshi Uchinami ¹ , Kazuhiro Kudoh ¹ , Yuko Hiroshima ² , Toshiaki Yoshioka ² , Hiroshi Nanjo ² , Masato Funaoka ³ , Yuzo Yamamoto ¹	第一外科	Hepatic angiolipoma: differential diagnosis from other liver tumors in a special reference to vascular imaging - importance of early drainage vein	Surgical Case Reports
36	Yuzo Yamamoto, Masato Yoshioka, Go Watanabe, Hiroshi Uchinami	第一外科	Opportunistic use of a Foley catheter to provide a common electrocautery with a water-irrigating channel for hepatic parenchymal transection.	Surgery Today
37	Masato Yoshioka ¹ , Hiroshi Uchinami ¹ , Go Watanabe ¹ , Tsutomu Sato ² , Satoshi Shibata ³ , Makoto Kume ⁴ , Koichi Ishiyama ⁵ , Satoshi Takahashi ⁵ , Manabu Hashimoto ⁵ , Yuzo Yamamoto ¹	第一外科	F-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography for differential diagnosis of pancreatic tumors.	SpringerPlus
38	Saito H, Nakagawa T, Ito M, Imai K, Ono T, Minamiya Y	第二外科	Pulmonary function after lobectomy versus segmentectomy in patients with stage I non-small cell lung cancer	World J Surg, 38, 2025-2031. 2014
39	Maruyama K, Shimada K, Gomi K	第二外科	Two cases of simultaneous laparoscopic surgery for synchronous gastric and colon tumors	Akita J Med, 40, 175-180. 2014
40	Imai K, Minamiya Y, Saito H, Motoyama S, Sato Y, Ito A, Yoshino K, Kudo S, Takashima S, Kawaharada Y, Kurihara N, Orino K, Ogawa J	第二外科	Diagnostic imaging in the preoperative management of lung cancer	Surg Today, 44, 1197-1206. 2014
41	Yoshino K, Motoyama S, Koyota S, Shibuya K, Sato Y, Sasaki T, Wakita A, Saito H, Minamiya Y, Sugiyama T, Ogawa J	第二外科	Identification of insulin-like growth factor 2 mRNA-binding protein 3 as a radioresistance factor in squamous esophageal	Dis Esophagus, 27, 479-484. 2014
42	Kudo S, Imai K, Ishiyama K, Hashimoto M, Saito H, Motoyama S, Sato Y, Takashima S, Murata K, Minamiya Y	第二外科	New CT criteria for nodal staging in non-small cell lung cancer	Clin Imaging, 38, 448-453. 2014
43	Kurihara N, Imai K, Minamiya Y, Saito H, Takashima S, Kudo S, Kawaharada Y, Ogawa J	第二外科	Hoarseness caused by arytenoid dislocation after surgery for lung cancer	Gen Thorac Cardiovasc Surg, 62, 730-733. 2014
44	Kuribayashi K, Motoyama S, Sasaki T, Sato Y, Yoshino K, Wakita A, Imai K, Saito H, Minamiya Y	第二外科	C-Reactive Protein Reduces the Relative Number of Tumor-Associated M2 Macrophages and Intratumoral Angiogenesis in Mice	Tohoku J Exp Med, 233(4):249-55. 2014
45	Terata K, Motoyama S, Kamata S, Hina Y, Miura M, Sato Y, Yoshino K, Ito A, Imai K, Saito H, Minamiya Y	第二外科	Evaluation of the potential for lymph node metastasis using CRP 1846C>T genetic polymorphism in invasive breast cancer	Tumour Biol, 35, 5931-5936. 2014
46	Takashima S, Saito H, Takahashi N, Imai K, Kudo S, Atari M, Saito Y, Motoyama S, Minamiya Y(2014)	第二外科	Strong expression of cyclinB2 mRNA correlates with a poor prognosis in patients with non-small cell lung cancer.	Tumour Biol, 35, 4257-4265. 2014
47	Miyagawa T, Saito H, Minamiya Y, Mitobe K, Takashima S, Takahashi N, Ito A, Imai K, Motoyama S, Ogawa J	第二外科	Inhibition of Hsp90 and 70 sensitizes melanoma cells to hyperthermia using ferromagnetic particles with a low Curie temperature	Int J Clin Oncol. 2014 Aug;19(4):722-30. 2014.
48	Nagaki Y, Sato Y, Motoyama S, Yoshino K, Sasaki T, Wakita A, Imai K, Saito H, Minamiya Y.	第二外科	Salvage esophagectomy under bilateral thoracotomy after definitive chemoradiotherapy for aorta T4 thoracic esophageal squamous cell carcinoma: Report of a case.	Int J Surg Case Rep. 2015;8C:76-80.

49	Imai Y, Imai K, Kimura T, Horiguchi T, Goyagi T, Saito H, Sato Y, Motoyama S, Nishikawa T, Minamiya Y.	第二外科	Evaluation of postoperative pregabalin for attenuation of postoperative shoulder pain after thoracotomy in patients with lung cancer, a preliminary result.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2015 Feb;63(2):99-104.
50	Takeo Uzuka · Kenichiro Asano · Toshio Sasajima · Kaori Sakurada · Toshihiro Kumabe · Takaaki Beppu · Masahiro Ichikawa · Chifumi Kitanaka · Hiroshi Aoki · Kiyoshi Saito · Kuniaki Ogasawara · Teiji Tominaga ·	脳神経外科	Treatment outcomes in glioblastoma patients aged 76 years or older: a multicenter retrospective cohort study	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2015 Feb;63(2):99-104.
51	Shuichi Kaneyama1, Taku Sugawara2, Naoki Higashiyama2, Masato Takabatake1, Masatoshi Sumi1* and Kazuo Mizoi2	脳神経外科	A novel screw guiding method with a screw guide template system for posterior C-2 fixation: clinical article.	J Neurosurg Spine 21:231-238, 2014
52	Mohamed A, Omi E, Honda K, Suzuki S, Ishikawa K, Takahashi M, Oda M	脳神経外科	Large middle ear schwannoma of the Jacobson's nerve with intracranial extension	Auris Nasus Larynx 41: 491-495, 2014
53	Mohamed A, Ishikawa K, Omi E, Honda K, Suzuki S, Sato T, Fukui N, Takahashi M	脳神経外科	Giant cell tumor of the temporal bone invading into the pterygoid muscle through the temporomandibular joint.	J Neurol Surg Rep. 75 :e136-40, 2014
54	Sakata H, Fujimura M, Sato K, Shimizu H, Tominaga T	脳神経外科	Efficacy of Extracranial-Intracranial Bypass for Progressive Middle Cerebral Artery Occlusion Associated with Active Sjögren's Syndrome: Case Report	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 23 (8) :e399-402, 2014
55	Omodaka S, Endo H, Doi H, Shimizu H, Fujimura M, Aizawa N, Nakazawa T, Tominaga T	脳神経外科	Usefulness of Laser Speckle Flowgraphy for the Assessment of Ocular Blood Flow in Extracranial-Intracranial Bypass	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 23 (10) :e445-448, 2014
56	Okudera Y, Miyakoshi N, Sugawara T, Hongo M, Kasukawa Y, Ishikawa Y, Shimada Y	脳神経外科	Ganglioneuroblastoma of filum terminale-Case report-	Journal of Neurosurgery Spine: 21 (2) :270-274, 2014
57	Sato K, Shimizu H, Inoue T, Fujimura M, Matsumoto Y, Kondo R, Endo H, Sonoda Y, Tominaga T	脳神経外科	Angiographic circulation time and cerebral blood flow during balloon test occlusion of the internal carotid artery	Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism 34:136-143, 2014
58	Endo T, Shimizu H, Sato K, Niizuma K, Kondo R, Matsumoto Y, Takahashi A, Tominaga T	脳神経外科	Cervical Perimedullary Arteriovenous Shunts: A Study of 22 Consecutive Cases With a Focus on Angioarchitecture and Surgical Approaches	Neurosurgery 75(3):238-249, 2014
59	Fujimura M, Sato K, Kimura N, Inoue T, Shimizu H, Tominaga T	脳神経外科	A Case of Bilateral Giant Internal Carotid Artery Aneurysms at the Cavernous Portion Managed by 2-stage Extracranial-Intracranial Bypass with Parent Artery Occlusion: Consideration for Bypass Selection and Timing of Surgeries	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 23 (8) :e393-398, 2014
60	Ito A, Niizuma K, Shimizu H, Fujimura M, Hasumi K, Tominaga T	脳神経外科	SMTP-7, a new thrombolytic agent, decreases hemorrhagic transformation after transient middle cerebral artery occlusion under warfarin anticoagulation in mice	Brain Res 1578:38-48, 2014
61	Niizuma K, Shimizu H, Inoue T, Watanabe M, Tominaga T	脳神経外科	Maximum preservation of the media in carotid endarterectomy.	Neurol Med Chir 54 (9) :812-818, 2014
62	Akamatsu Y, Fujimura M, Uenohara H, Shimizu H, Tominaga T	脳神経外科	Development of Moyamoya Disease in Pregnancy and Puerperium: Case Report	Neurol Med Chir 54 (10) :824-826, 2014
63	Fujimura M, Niizuma K, Endo H, Sato K, Inoue T, Shimizu H, Tominaga T	脳神経外科	Quantitative analysis of early postoperative cerebral blood flow contributes to the prediction and diagnosis of cerebral hyperperfusion syndrome after revascularization surgery for moyamoya disease	Neurological Research 37 (2) :131-138, 2015
64	Mezaki Y, Morii M, Hebiguchi T, Yoshikawa K, Yamaguchi N, Miura M, Imai K, Yoshino H, Senoo H.	小児外科	Differential increases in the expression of intermediate filament proteins and concomitant morphological changes of transdifferentiating rat hepatic stellate cells observed in vitro.	Acta Histochem Cytochem, 40,137-43,2013
65	Hebiguchi T, Mezaki Y, Morii M, Watanabe R, Yoshikawa K, Miura M, Imai K, Senoo H, Yoshino H, Hebiguchi T, Mezaki Y, Morii M, Watanabe R, Yoshino H, Senoo Y.	小児外科	Massive bowel resection upregulates the intestinal mRNA expression levels of cellular retinol-binding protein II and apolipoprotein A-IV and alters the intestinal vitamin A status in rats. Intestinal absorption of Vitamin A and Short bowel syndrome	Int J Mol Med.35,724-30,2014

66	Adachi, H., Takahashi, I., Takahashi, T.	小児科	Novel TRAPPC2 mutation in a boy with X-linked spondylo-epiphyseal dysplasia tarda.	Pediatr. Int., 56, 925-928, 2014
67	Kodama, K., Noguchi, A., Adachi, H., Hebiguchi, M., Yano, M., Takahashi, T.	小児科	Novel mutation in the TMPRSS6 gene with iron-refractory iron deficiency anemia.	Pediatr. Int., 56, e41-44, 2014
68	Shimizu, D., Sato, N., Sato, T., Makino, K., Kito, M., Shirasawa, H., Kumagai, J., Terada, Y.	産科婦人科	Impact of adjuvant chemotherapy for stage I ovarian carcinoma with intraoperative tumor capsule rupture.	J Obstet Gynaecol Res, 41 (3), 432-9, 2015
69	Sugawara, T., Sato, N., Shimizu, D., Sato, T., Makino, K., Kito, M., Tamura, D., Kato, A., Terada, Y	産科婦人科	Efficient screening strategy for lynch syndrome in Japanese endometrial cancer.	Tohoku J Exp Med, 235 (2), 117-25, 2015
70	Sato, A., Ishida, M., Ishibashi, K., Shirasawa, H., Akahira, S., Miura, H., Sato, M., Kumagai, J., Terada, Y	産科婦人科	A case of acute aortic dissection in a woman with Marfan syndrome at 29 weeks' gestation.	J Obstet Gynaecol, 34 (4), 358, 2014
71	Kume K, Deguchi K, Ikeda K, Takata T, Kokudo Y, Kamada M, Touge T, Takahashi, T, Kanbayashi T, Masaki T.	精神科	Neuromyelitis optica spectrum disorder presenting with repeated hypersomnia due to involvement of the hypothalamus and hypothalamus-amygdala linkage.	Mult Scler.
72	Kikuchi YS, Sato W, Ataka K, Yagisawa K, Omori Y, Kanbayashi T, Shimizu T.	精神科	Clozapine-induced seizures, electroencephalography abnormalities, and clinical responses in Japanese patients with schizophrenia.	Neuropsychiatr Dis Treat.
73	Kikuchi YS, Ataka K, Yagisawa K, Omori Y, Kanbayashi T, Shimizu T.	精神科	Clozapine administration and the risk of drug-related pure red cell aplasia: a novel case report.	J Clin Psychopharmacol.
74	Miyagawa T, Toyoda H, Hirataka A, Kanbayashi T, Imanishi A, Sagawa Y, Kotorii N, Kotorii T, Hashizume Y, Ogi K, Hiejima H, Kamei Y, Hida A, Miyamoto M, Imai M, Fujimura Y, Tamura Y, Ikegami A, Wada Y, Moriya S, Furuya H, Kato M, Omata N, Kojima H, Kashiwase K, Saji H, Khor SS, Yamasaki M, Wada Y, Ishigooka J, Kuroda K, Kume K, Chiba S, Yamada N, Okawa M, Hirata K, Uchimura N, Shimizu T, Inoue Y, Honda Y, Mishima K, Honda M, Tokunaga K	精神科	New susceptibility variants tonarcolepsy identified in HLA class II region.	Hum Mol Genet.
75	Sato M, Sagawa Y, Hirai N, Sato S, Okuro M, Kumar S, Kanbayashi T, Shimizu T, Sakai N, Nishino S.	精神科	Noninvasive detection of sleep/wake changes and cataplexy-like behaviors in orexin/ataxin-3 transgenic narcoleptic mice across the disease onset.	Exp Neurol.
76	Takeshima M, Echizenya M, Inomata Y, Shimizu T.	精神科	Scurvy in an alcohol-dependent patient with a severely unbalanced diet.	Psychiatry Clin Neurosci.
77	Kondo H, Ozone M, Ohki N, Sagawa Y, Yamamichi K, Fukuju M, Yoshida T, Nishi C, Kawasaki A, Mori K, Kanbayashi T, Izumi M, Hishikawa Y, Nishino S, Shimizu T.	精神科	Association between heart rate variability, blood pressure and autonomic activity in cyclic alternating pattern during sleep.	Sleep
78	Koyama Takashi, Sato Shinichi, Kanbayashi Takashi, Kondo Hideaki, Watanabe Hiroyuki, Nishino Seiji, Shimizu Tetsuo, Ito Hiroshi, Ono Kyoichi	精神科	Apnea during Cheyne-Stokes-like breathing detected by a piezoelectric sensor for screening of sleep disordered breathing.	Sleep and Biological Rhythms
79	Inomata Yoshiyuki, Echizenya Masaru, Takeshima Masahiro, Shimizu Kazumi, Shimizu Tetsuo	精神科	Validity and reliability of the Japanese version of the Morningness-Eveningness Questionnaire evaluated from actigraphy.	Sleep and Biological Rhythms
80	Takeshima Masahiro, Echizenya Masaru, Inomata Yoshiyuki, Shimizu Kazumi, Shimizu Tetsuo	精神科	Comparison of sleep estimation using wrist actigraphy and waist actigraphy in healthy young adults.	Sleep and Biological Rhythms
81	Kasukawa, Y., Miyakoshi, N., Ebina, T., Aizawa, T., Hongo, M., Nozaka, K., Saito, H., Chida, S., Shimada, Y	整形外科	Effects of risedronate alone or combined with the vitamin K2 on serum undercarboxylated osteocalcin and osteocalcin levels in postmenopausal osteoporosis.	J Bone Miner Metab
82	Kudo, D., Miyakoshi, N., Hongo, M., Matsumoto- Miyai, K., Kasukawa, Y., Misawa, A., Ishikawa, Y., Shimada, Y.	整形外科	LBX1 mRNA expression in paravertebral muscles of patients with Adolescent idiopathic scoliosis: a preliminary study.	Akita journal of medicine

83	Kudo, D., Miyakoshi, N., Hongo, M., Matsumoto- Miyai, K., Kasukawa, Y., Misawa, A., Ishikawa, Y., Shimada, Y.	整形外科	Nerve Growth Factor and Estrogen Receptor mRNA Expression in Paravertebral Muscles of Patients With Adolescent Idiopathic Scoliosis: A Preliminary Study.	Spine Deformity
84	Saito, K., Matsunaga, T., Iwami, T., Shimada, Y.	整形外科	Evaluation of trunk stability in the sitting position using a new method.	Biomed Res
85	Hongo, M., Miyakoshi, N., Kasukawa, Y., Iwshikawa, Y., Shimada, Y	整形外科	Additive effect of elcatonin to risedronate for chronic back pain and quality of life in postmenopausal women with osteoporosis: a randomized controlled trial.	J Bone Miner Metab
86	Miyakoshi, N., Hongo, M., Kobayashi, T., Suzuki, T., Abe, E., Shimada, Y.	整形外科	Comparison between bilateral C2 pedicle screwing and unilateral C2 pedicle screwing, combined with contralateral C2 laminar screwing, for atlantoaxial posterior fixation.	Asian Spine J
87	Hasunuma N, Umebayashi Y, and Manabe M	皮膚科	True leukonychia in Crohn disease induced by selenium deficiency.	JAMA Dermatol 150, 779-780.
88	Yokoi A, Endo K, Ozawa T, Miyaki M, Matsuo K, Nozawa K, Manabe M and Takagi Y	皮膚科	A cleanser based on sodium laureth carboxylate and alkyl carboxylates washes facial sebum well but does not induce dry skin.	J Cosmet Dermatol3, 245-252.
89	Numakura K, Satoh S, Tsuchiya N, Saito M, Nara T, Huang M, Tsuruta H, Akihama S, Inoue T, Narita S, Habuchi T	泌尿器科	De novo renal cell carcinoma in an allograft kidney treated with nephron-sparing surgery: a case report.	Prog Transplant. 2014 Dec;24(4):328-31. doi: 10.7182/pit2014372.
90	Kashima S, Inoue T, Chiba M, Komine N, Ito R, Numakura K, Tsuruta H, Saito M, Akihama S, Narita S, Tsuchiya N, Satoh S, Onishi H, Habuchi T.	泌尿器科	Renal subcapsular fluid collection caused by penetration of a pancreatic pseudocyst.	Urology. 2014 Nov;84(5):e23-4. doi: 10.1016/j.urology.2014.07.048. Epub 2014 Oct 24.
91	Mitsuzuka K, Narita S, Koie T, Kaiho Y, Tsuchiya N, Yoneyama T, Kakoi N, Kawamura S, Tochigi T, Ohyama C, Habuchi T, Arai Y.	泌尿器科	Lymphovascular invasion is significantly associated with biochemical relapse after radical prostatectomy even in patients with pT2N0 negative resection margin.	Prostate Cancer Prostatic Dis. 2015 Mar;18(1):25-30. doi: 10.1038/pcan.2014.40.
92	Komine N, Narita S, Kigure T, Tsuruta H, Numakura K, Akihama S, Saito M, Inoue T, Tsuchiya N, Satoh S, Nanjo H, Habuchi T.	泌尿器科	Successful local control of recurrent penile cancer treated with a combination of systemic chemotherapy, irradiation, and mohs' paste: a case report.	Case Rep Oncol. 2014 Jul 24;7(2):522-7. doi: 10.1159/000365809. eCollection 2014 May.
93	Koie T, Mitsuzuka K, Narita S, Yoneyama T, Kawamura S, Kaiho Y, Tsuchiya N, Tochigi T, Habuchi T, Arai Y, Ohyama C.	泌尿器科	A solitary positive prostate cancer biopsy does not predict a unilateral lesion in radical prostatectomy specimens.	Scand J Urol. 2014 Aug 28;1-5. [Epub ahead of print]
94	Numakura K, Tsuchiya N, Akihama S, Inoue T, Narita S, Huang M, Satoh S, Habuchi T.	泌尿器科	Successful mammalian target of rapamycin inhibitor maintenance therapy following induction chemotherapy with gemcitabine and doxorubicin for metastatic sarcomatoid renal cell carcinoma.	Successful mammalian target of rapamycin inhibitor maintenance therapy following induction chemotherapy with gemcitabine and doxorubicin for metastatic sarcomatoid renal cell carcinoma.
95	Matsuda T, Kanayama H, Ono Y, Kawauchi A, Mizoguchi H, Nakagawa K, Iwamura M, Shigeta M, Habuchi T, Terachi T.	泌尿器科	Reliability of laparoscopic skills assessment on video: 8-year results of the Endoscopic Surgical Skill Qualification System in Japan.	J Endourol. 2014 Nov;28(11):1374-8. doi: 10.1089/end.2014.0092.
96	Yoneyama T, Ohyama C, Hatakeyama S, Narita S, Habuchi T, Koie T, Mori K, Hidari KI, Yamaguchi M, Suzuki T, Tobisawa Y.	泌尿器科	Measurement of aberrant glycosylation of prostate specific antigen can improve specificity in early detection of prostate cancer.	Biochem Biophys Res Commun. 2014 Jun 13;448(4):390-6. doi: 10.1016/j.bbrc.2014.04.107.
97	Kanda S, Tsuchiya N, Narita S, Inoue T, Huang M, Chiba S, Akihama S, Saito M, Numakura K, Tsuruta H, Satoh S, Saito S, Ohyama C, Arai Y, Ogawa O, Habuchi T.	泌尿器科	Effects of functional genetic polymorphisms in the CYP19A1 gene on prostate cancer risk and survival.	Int J Cancer. 2015 Jan 1;136(1):74-82. doi: 10.1002/ijc.28952.
98	Ishikawa M, Yoshitomi T, Izumi Y.	眼科	Excitotoxicity and glaucoma.	Ophthalmology - Current Clinical and Research Updates, pp.523- 542, 2014 ※書籍のため巻(号)なし
99	Ishikawa M, Yoshitomi T, Zorumski CF, Izumi Y.	眼科	Neurosteroids are endogenous neuroprotectants in an ex vivo glaucoma model.	Investigative Ophthalmology & Visual Science, 55(12), pp. 8531-8541, 2014

100	Ishikawa M, Sawada Y, Yoshitomi T.	眼科	Structure and function of the interphotoreceptor matrix surrounding retinal photoreceptor cells.	Experimental Eye Research, 133, pp. 3-18, 2015
101	Ishikawa K, Itasaka Y, Koizumi K, Omi E, Honda K, Suzuki S	耳鼻咽喉科	Changes in gait performance caused by vestibular lesions.	Austin J Otolaryngol 1:1-3, 2014
102	Suzuki S, Ishikawa K	耳鼻咽喉科	Combined inhibition of EMMPRIN and epidermal growth factor receptor prevents the growth and migration of head and neck squamous cell carcinoma cells.	. Int J Oncol 44:912-917, 2014
103	Soares M, Nakazawa M, Ishikawa K, Sato T, Honda K	耳鼻咽喉科	Hearing screening for Japanese children and young adults using the automated auditory brainstem response.	Auris Nasus Larynx 41:17-21, 2014
104	Mohamed A, Ishikawa K, Omi E, Honda K, Suzuki S, Sato T, Fukui N, Takahasi M:	耳鼻咽喉科	Giant cell tumor of the temporal bone invading into the pterygoid muscle through the temporomandibular joint.	J Neurol Surg Rep 75:136-140, 2014
105	Mohamed A, Omi E, Honda K, Suzuki S, Ishikawa K, Takahasi M, Oda M	耳鼻咽喉科	Large middle ear schwannoma of the Jacobson's nerve with intracranial extension.	Auris Nasus Larynx 41:491-495, 2014
106	Honda K, Ishiyama K, Suzuki S, Oumi E, Sato T, Kawasaki Y, Saito H, Ishikawa K	耳鼻咽喉科	Sentinel lymph node biopsy using computed tomographic lymphography in patients with early tongue cancer.	Acta Otolaryngol 135:507-512, 2015
107	Tsuji T, Satoyoshi R, Aiba N, Kubo T, Yanagihara K, Maeda D, Goto A, Ishikawa K, Yashiro M, Tanaka M	耳鼻咽喉科	Agr2 mediates paracrine effects on stromal fibroblasts that promote invasion by gastric signet-ring carcinoma cell.	Cancer Res 75:356-366, 2015
108	Sato K, Horiguchi T, Nishikawa T	麻酔科	Pulmonary aspiration during induction of anesthesia in a patient with a past history of esophagectomy	Japanese Journal of Reanimatology
109	Kimura T, Nishikawa T	麻酔科	Minimum alveolar concentration needed to block adrenergic response of sevoflurane with nitrous oxide varies depending on the stimulation sites in adult patients	Journal of Anesthesiology and Critical Care Medicine
110	Goyagi T, Tobe Y	麻酔科	Dexmedetomidine improves the histological and neurological outcomes 48 h after transient spinal ischemia in rats	Brain Research
111	Goyagi T, Tobe Y	麻酔科	Dexmedetomidine ameliorates histological and neurological outcomes after transient spinal ischemia in rats	British Journal of Medical Research
112	Nakae H, Fujita Y, Endo S	救急部	Serum concentrations of diterpenoid alkaloids after oral administration of powdered processed aconiti root.	Pers Med Univers 2014;3: 54-56.
113	Nakae H, Hattori T, Igarashi T, Okuyama M, Tajimi K.	救急部	Removal of toxic substances by a selective membrane plasma separator	Ther Apher Dial 2014;18:265-271
114	Nakae H, Hebiguchi M, Shirasaki S, Okuyama M, Masuda Y	救急部	Comparison of false positive reactions for amphetamine analogs after maoto administration using two urinary drug-screening kits	Traditional & Kampo Medicine 2014; 1: 2-6.
115	Horikoshi Y, Kimura T, Nishikawa T, Horiguchi T, Sato K, Ohbuchi M (2015)	歯科口腔外科	Neuroprotective effects of combination of Dexmedetomidine and hypothermia after asphyxia cardiac arrest in rats.	蘇生34(1), 14-21
116	Deng, YR., Yoshida, K., Jin, QL., Murata, M., Yamaguchi, T., Tsuneyama, K., Moritoki, Y., Niu, JQ., Matsuzaki, K., Lian, ZX.	総合診療・検査 診断学	Reversible phospho-Smad3 signaling between tumor suppression and fibrocarcinogenesis in chronic hepatitis B infection	Clin Exp Immunol

117	Tamaki, M., Konno, Y., Kobayashi, Y., Takeda, M., Itoga, M., Moritoki, Y., Oyamada, H., Kayaba, H., Chihara, J., Ueki, S	総合診療・検査 診断学	Expression and functional roles of G-protein-coupled estrogen receptor (GPER) in human eosinophils	Immunol Lett
118	Ueki, S., Nishikawa, J., Konno, Y., Tamaki, M., Takeda, M., Moritoki, Y., Chihara, J	総合診療・検査 診断学	Eliciting eosinophil CCR3 expression by synthetic retinoids	Allergo Int
119	Shida, S., Takahashi, N., Niioaka, T., Kitabayashi, A., Kawabata, Y., Kume, M., Saitoh, H., Hatano, Y., Ichikawa, Y., Kuroki, J., Motegi, M., Kobayashi, T., Kameoka, Y., Tagawa, H., Fujishima, N., Yoshioka, T., Hirokawa, M., Miura, M., Sawada, K	総合診療・検査 診断学	Treatment of multiple myeloma in Akita: features and outcomes in the era of novel agents	Clin Exp Hematop
120	Shida, S., Takahashi, N., Miura, M., Niioaka, T., Matsumoto, M., Hagihara, M., Kobayashi, T., Abumiya, M., Kameoka, Y., Fujishima, N., Tagawa, H., Hirokawa, M., Sawada, K	総合診療・検査 診断学	A limited sampling model to estimate exposure to lenalidomide in multiple myeloma patients	Ther Drug Monit
121	Kikuchi, K., Tsuneyama, K., Yamada, H., Kajiyama, Y., Matsumoto, K., Tsunashima, H., Yamashita, R., Takai, A., Negishi, M., Hara, M., Moritoki, Y., Miyakawa, H	総合診療・検査 診断学	Splenic lymph follicles generate immunoglobulin M-producing B cells in primary biliary cirrhosis	Hepatol Res
122	Nara, M., Komatsuda, A., Omokawa, A., Togashi, M., Okuyama, S., Sawada, K., Wakui, H	総合診療・検査 診断学	Serum interleukin 6 levels as a useful prognostic predictor of clinically amyopathic dermatomyositis with rapidly progressive interstitial lung disease.	Mod Rheumatol
123	Omokawa, A., Komatsuda, A., Hirokawa, M and Wakui, H	総合診療・検査 診断学	Membranous nephropathy with monoclonal IgG4 deposits and associated IgG4-related lung disease	Clin Kidney J
124	Saito, Y., Takeda, M., Nishikawa, J., Konno, Y., Tamaki, M., Itoga, M., Kobayashi, Y., Moritoki, Y., Ito, W., Chihara, J., Ueki, S	総合診療・検査 診断学	The effect of pharmacological PI3K γ inhibitor on eotaxin-induced human eosinophil functions	Pulm Pharmacol Ther
125	Imaizumi, C., Tamaki, M., Ueki, S., Takahashi, N	総合診療・検査 診断学	An unusual cause of abdominal pain:abdominal hematoma	Interm Med
126	Yamamoto A, Saito N, Yamauchi Y, Takeda M, Ueki S, Itoga M, Kojima K, Kayaba H	総合診療・検査 診断学	Flow cytometric analysis of red blood cell osmotic fragility	J Lab Autom
127	Konno Y, Ueki S, Takeda M, Kobayashi Y, Tamaki M, Moritoki Y, Oyamada H, Itoga M, Kayaba H, Omokawa A, Hirokawa M	総合診療・検査 診断学	Functional analysis of free fatty acid receptor GPR120 in human eosinophils: implications in metabolic homeostasis.	PLoS One
128	Itoga M, Konno Y, Moritoki Y, Saito Y, Ito W, Tamaki M, Kobayashi Y, Kayaba H, Kikuchi Y, Chihara J, Takeda M, Ueki S, Hirokawa M	総合診療・検査 診断学	G-Protein-Coupled Estrogen Receptor Agonist Suppresses Airway Inflammation in a Mouse Model of Asthma through IL-10	PLoS One
129	Chiba, S., Tsuchiya, N., Horikawa, Y., Narita, S., Inoue, T., Akihama, S., Saito, M., Numakura, K., Tsuruta, H., Huang, M., Satoh, S., Habuchi, T.	腎疾患先端医 療センター	Functional mononucleotide repeat polymorphism in the promoter region of HGF is associated with risk and malignant aggressiveness of bladder cancer.	Int. J. Oncol. 44, 678-684.
130	Numakura, K., Tsuchiya, N., Akihama, S., Inoue, T., Narita, S., Huang, M., Satoh, S., Habuchi, T.	腎疾患先端医 療センター	Successful mammalian target of rapamycin inhibitor maintenance therapy following induction chemotherapy with gemcitabine and doxorubicin for metastatic sarcomatoid renal cell carcinoma.	Oncol. Lett. 8, 464-466.
131	Komine, N., Narita, S., Kifure, T., Tsuruta, H., Numakura, K., Akihama, S., Saito, M., Inoue, T., Tsuchiya, N., Satoh, S., Nanjo, H., Habuchi, T.	腎疾患先端医 療センター	Successful local control of recurrent penile cancer treated with a combination of systemic chemotherapy, irradiation, and mohs' paste: a case report.	Case Rep. Oncol. 7, 522-527.
132	Satoh, S., Niioaka, T., Kagaya, H., Inoue, T., Mitsuru, S., Komine, N., Narita, S., Tsuchiya, N., Habuchi, T., Miura, M.	腎疾患先端医 療センター	Pharmacokinetic and CYP3A5 pharmacogenetic differences between once- and twice-daily tacrolimus from the first dosing day to 1 year after renal transplantation.	Pharmacogenomics 15, 1495-1506.
133	Numakura, K., Satoh, S., Tsuchiya, N., Saito, M., Nara, T., Huang, M., Tsuruta, H., Akihama, S., Inoue, T., Narita, S., Habuchi, T.	腎疾患先端医 療センター	De novo renal cell carcinoma in an allograft kidney treated with nephron-sparing surgery: a case report.	Prog. Transplant. 4, 328-331.

134	Nioka T, Kagaya H, Saito M, Inoue T, Numakura K, Habuchi T, Satoh S, Miura M.	薬剤部	Capability of utilizing CYP3A5 polymorphisms to predict therapeutic dosage of tacrolimus at early stage post-renal transplantation.	Int J Mol Sci. 2015;16(1):1840-54. doi: 10.3390/ijms16011840.
135	Kobayashi H, Sato K, Nioka T, Miura H, Ito H, Miura M.	薬剤部	Relationship Among Gefitinib Exposure, Polymorphisms of Its Metabolizing Enzymes and Transporters, and Side Effects in Japanese Patients With Non-Small-Cell Lung Cancer.	Clin Lung Cancer. 2015;16(4):274-81. doi: 10.1016/j.clcc.2014.12.004. Epub 2014 Dec 11.
136	Abumiya M, Takahashi N, Nioka T, Kameoka Y, Fujishima N, Tagawa H, Sawada K, Miura M.	薬剤部	Influence of UGT1A1 6, 27, and 28 polymorphisms on nilotinib-induced hyperbilirubinemia in Japanese patients with chronic myeloid leukemia.	Drug Metab Pharmacokinet. 2014;29(6):449-54. doi: 10.2133/dmpk.DMPK-14-RG-031. Epub 2014 Jun 3.

合計 136

(注)

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限り)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
~				

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 1) 申請から承認までの流れ 2) 倫理審査申請の際に提出してもらう書類について 3) 倫理審査申請書に添付する研究対象者(患者)への説明分に記入されるべき事項 4) 倫理審査申請に添付する患者への同意書に記入させるべき事項について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 16回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 (別添のとおり)	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2回
・ 研修の主な内容 「人を対象とする医学系研究に関する心理指針」の説明会 「臨床研究におけるモニタリング、監査の意義とその手順」の説明会	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(卒後臨床研修プログラムの3種類 (A・B・C) について、内容は別添データのとおり)

2 研修の実績

研修医の人数 39人

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大西 洋英	消化器内科 (肝・胆・膵)	教授	31年	
飯島 克則	消化器内科 (胃腸・食道)	教授	23年	
大西 洋英	神経内科	教授	31年	
伊藤 宏	循環器内科	教授	35年	
伊藤 宏	呼吸器内科	教授	35年	
高橋 直人	血液内科	教授	25年	
高橋 直人	腎臓内科	教授	25年	
高橋 直人	リウマチ科	教授	25年	
山田 祐一郎	糖尿病・内分泌内科	教授	30年	
山田 祐一郎	老年科	教授	30年	
山本 雄造	消化器外科	教授	33年	
南谷 佳弘	呼吸器外科	教授	29年	
南谷 佳弘	食道外科	教授	29年	
南谷 佳弘	乳腺・内分泌外科	教授	29年	
山本 浩史	心臓血管外科	教授	32年	
清水 宏明	脳神経外科	教授	29年	
吉野 裕顕	小児外科	病院教授	35年	
高橋 勉	小児科	教授	29年	
寺田 幸弘	産科	教授	32年	
寺田 幸弘	婦人科	教授	32年	
清水 徹男	精神科	教授	38年	
島田 洋一	整形外科	教授	33年	
眞鍋 求	皮膚科	教授	37年	
羽瀧 友則	泌尿器科	教授	29年	
吉富 健志	眼科	教授	34年	
石川 和夫	耳鼻咽喉科	教授	39年	
橋本 学	放射線診断科	教授	33年	
橋本 学	放射線治療科	教授	33年	
西川 俊昭	麻酔科	教授	37年	
島田 洋一	リハビリテーション科	教授	33年	
柴田 浩行	腫瘍内科	教授	28年	

中永 士師明	救急科	教授	26年
大森 泰文	病理診断科	教授	27年
福田 雅幸	歯科口腔外科	病院教授	29年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 羽瀨 友則	
管理担当者氏名	総務課長 坂本 泰敏, 医事課長 針金 誠悦, 薬剤部長 三浦 昌朋	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課 (病歴室)	外来は 1 患者 1 カルテ 入院は 1 入院 1 カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	年度ごとに紙媒体
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	<ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとに紙媒体で保管 ・安全管理および感染制御に係る指針等、マニュアルの改訂を伴うものについては随時、医療情報端末上で最新版を保管
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課		

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	医事課	
	第一条の十一	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	<ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとに紙媒体で保管 ・安全管理および感染制御に係る指針等、マニュアルの改訂を伴うものについては随時、医療情報端末上で最新版を保管
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	第九条の二十三	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	一覧にして電子媒体および紙媒体
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター	一覧にして紙媒体
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター	年度毎に紙媒体
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター	一覧にして電子媒体
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		臨床工学センター	年度毎に紙媒体	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 羽瀨 友則	
閲覧担当者氏名	総務課長 坂本 泰敏	
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室	
閲覧の手続の概要		
問い合わせ先等について院内に掲示している。 なお、閲覧者があった場合は総務課担当で受付、管理棟会議室で閲覧の求めに応じる。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 安全管理に関する基本的な考え方(2) 安全管理のための委員会、その他組織に関する基本事項(3) 安全管理のための職員研修に関する基本方針(4) 医療の安全確保を目的とした改善の方策に関する基本方針(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針(6) 患者との情報の共有に関する基本方針(7) 患者からの相談対応に関する基本方針(8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年15回 (平成26年度)
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療に係る安全管理の指針に関すること(2) 医療に係る安全管理の体制に関すること(3) 医療安全に関するマニュアルに関すること(4) 医療の安全管理のための職員研修に関すること(5) インシデントに関する調査・分析、改善策の策定・実施及び職員への周知に関すること(6) 医療事故の判定及び認定に関すること(7) 策定された改善策の評価及び見直しに関すること(8) 医療事故及び医事紛争の対応策に関すること(9) その他医療の安全管理に関し必要なこと	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年8回 (平成26年度)
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 「病院勤務者に必要な医療安全・感染制御の知識」(2) 「患者トラブル対応について～今時の患者トラブルの特徴と対処法～」(3) 「患者と医療者のコミュニケーション」(4) 「最新の突出痛の考え方とその対応」(5) 「輸血療法マニュアルおよび輸血手順の確認に関する研修会」(6) 「糖尿病薬について」(7) 「医療機器と電磁干渉」(8) 「事例から考える医薬品安全」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ ポケットマニュアル改訂・ 外来受診患者の対応フローチャート改訂・ 総合診療部リスクマネジャー任命・ 院内ラウンドチェック表改訂 (PDA認証：中央手術部・内視鏡センター・中央放射線部)・ 治験管理センターリスクマネジャー任命・ 外来での救急蘇生対応マップ改訂・ 救急外来での薬剤希釈投与の際「mg」と「ml」の両方の単位確認・ 輸血療法マニュアル改訂・ 輸血療法マニュアル改訂に関する研修会・ 外来カルテへの『転倒注意マーク』貼付・ 検査結果時系列表示の依頼コメント(定型コメント)欄表示の変更・ CHDF開始前・回路交換時のチェックリスト作成	

<ul style="list-style-type: none"> ・自己血と同種血が必要な場合の対応フローチャート作成（中央手術部・輸血部・検査部） ・『生命維持管理装置付近での携帯電話使用禁止』のリーフレット作成運用 ・検査依頼表示の変更『CPR』を『C-ベプテド』へ変更（間違いにくい表記へ変更） ・院内放送設備使用不可時のCAC連絡体制作成 ・安全管理規定の改正（原則として「診療科のリスクマネージャーに副科長を充てる） ・病棟食止め札、カードスタンド型に変更 ・診療特化マニュアル改訂（第6版） ・処方・注射オーダー画面のアレルギー表示機能の強化 ・CHDFチェックリスト院内統一 		
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（2名）・無	
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）・無	
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（18）名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員会で用いられる資料及び議事要旨の作成並びに保存その他委員会の庶務に関すること。 (2) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。 (3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認するとともに、必要な指導を行うこと。 (4) インシデントの原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。 (5) インシデント報告の調査・分析及び改善策の立案に関すること。 (6) インシデント報告の判定に関すること。 (7) 委員会で策定された改善策の実施状況調査に関すること。 (8) 医療の安全管理に関する指導方法に関すること。 (9) 医療の安全管理のための職員研修の実施に関すること。 (10) 医療安全管に関するマニュアル及び各種マニュアルの作成・改訂作業に関すること。 (11) 医療の安全に係る連絡調整に関すること。 (12) その他医療安全対策の推進に関すること。 		
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無	

(様式第6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 院内感染対策に関する基本的な考え方(2) 院内感染対策のための委員会、その他組織に関する基本事項(3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針(4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針(5) 院内感染症発生（アウトブレイク）時の対応に関する基本方針(6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針(7) その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 病院感染制御の指針に関すること(2) 病院感染制御の体制に関すること(3) 病院感染制御に関するマニュアルに関すること(4) 病院感染制御のための職員研修に関すること(5) 院内感染に関する調査・分析、改善策の策定・実施及び職員への周知に関すること(6) 策定された改善策の評価及び見直しに関すること(7) 院内感染の予防対策の実施及び指導に関すること(8) 感染発症時の処置に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年6回
<p>・ 研修の主な内容：【平成26年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none">第1回：「耐性菌伝播防止に向けた対策について」第2回：「感染対策のキホン再確認」第3回：「覚えておきたい！細菌5種！！」第4回：「小児における感染対策について」第5回：「エボラ・デング最新の話と心がまえ」第6回：「インフルエンザとノロウイルスの対応」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内感染の発生状況を把握するため、院内における感染症の発生動向の状況を共有することで、院内感染の予防及びまん延の防止を図る。また、重大な院内感染等が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、又は発生したことが疑われる場合は、地域の専門家等に相談が行われる体制を確保する。さらに「院内感染対策のための指針」に即した院内感染対策マニュアルを整備する等、その他の院内感染対策の推進のために必要な改善策を図るとともに、それらを定期的に見直す。また、以下について策定し、職員に周知した。</p> <ul style="list-style-type: none">1. サーベイランス<ul style="list-style-type: none">1) 薬剤耐性菌2) 血液培養陽性例3) 中心静脈カテーテル関連血流感染（血液内科・ICU）4) 人工呼吸器関連肺炎（ICU）5) 尿道留置カテーテル関連感染（脳神経外科）	

2. 抗菌薬適正使用のための活動

- 1) サーベイランスデータに基づいた院内ラウンド（毎週木曜日）
- 2) メーリングリストによる院内ラウンド報告（ICT・ICLS）
- 3) 毎月の薬剤耐性菌サーベイランスレポート・抗菌薬使用状況・抗菌薬長期使用患者数報告（ICC・ICT会議は毎月、ICLS会議は奇数月）
- 4) 一年間の抗菌薬使用状況・薬剤感受性の変化についての報告等（ICC・ICT会議は毎月、ICLS会議は奇数月）

3. マニュアル整備

- 1) 病院感染制御マニュアル
- 2) 感染管理ベストプラクティス
- 3) 手術部位感染とその予防及び同術期抗菌薬使用ガイドライン2008
- 4) 抗菌薬使用ガイドライン2007

4. コンサルテーション

- 1) 感染経路別予防薬のための患者配置
- 2) 針刺し・切創皮膚粘膜曝露時対応
- 3) 抗菌薬の選択と使用方法（医師）
- 4) その他

5. 感染管理のための教育

- 1) 研修会開催
- 2) 手指衛生強化のための個人指導
- 3) 外注業者対象

6. 環境整備（ゾーニング等）

- 1) 院内環境ラウンド（週2回）

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医薬品の有効性・安全性に関する情報及び適正使用に関する事項医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項医薬品による副作用が発生した場合の対応に関する事項	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有・無)業務の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 医薬品の採用、2) 医薬品の購入、3) 調剤室における医薬品管理、4) 麻薬室における医薬品管理、5) 薬品供給室における医薬品管理、6) 製剤室における医薬品管理、7) 院内製剤、8) 病棟における医薬品管理、9) 外来患者への医薬品管理、10) 入院患者への医薬品管理、11) 病棟・各部門への医薬品供給、12) 医薬品情報の収集・管理・提供、13) 手術・麻酔部門、14) 集中治療室、15) 救急部門、16) 輸血・血液管理部門、17) 生命維持管理装置領域、18) 臨床検査部門・画像診断部門、19) 歯科領域、20) 他施設との連携、21) 事故発生時の対応、22) 教育・研修以上項目を手順書に基づき定期的に実施状況の確認を行っている	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">厚生労働省、医薬品医療機器総合機構(PMDA)、医薬品製造販売業者、学術誌等からの情報を広く収集している。院内の医療従事者へは病院医療情報システム、薬品情報、薬事委員会等で情報周知し、薬剤部内への情報提供は毎週薬剤部でのカンファランスにおいて周知し迅速に情報が伝達できるようにしている。	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年10回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>使用経験のない新しい医療機器の導入時及び特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる医療機器に関して、その有効性、安全性、使用方法、保守点検、不具合発生時の対応、並びに特に法令上遵守すべき事項に関する研修を定期的に行い、その実施内容を記録している。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>保守点検に関する計画の策定に当たっては、医療機器の添付文書に記載されている保守点検に関する事項を参照するとともに、必要に応じて当該医療機器の製造販売業者から情報を提供してもらい、機種別に保守点検の時期等を記載している。</p> <p>また、保守点検の実施に当たっては、その実施状況、使用状況、修理状況並びに購入年数等を把握し記録するとともに、保守点検状況を評価し、必要に応じて安全面に十分配慮した医療機器の採用に関する助言、保守点検計画の見直しを行っている。</p> <p>なお、保守点検を外部に委託する場合も同様の対応を行い、実施状況の記録を保存している。内容については、別紙のとおり。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器の使用に当たっては、当該医療機器の製造販売業者が指定する使用方法を遵守するべく、医療機器の添付文書、取扱説明書等の安全使用・保守点検等に関する情報を整理・管理している。</p> <p>また、医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用に資する情報を製造販売業者から一元的に収集し、得られた情報を当該医療機器に携わる者へ提供するとともに、管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報を収集し、病院長への報告等を行っている。</p> <p>なお、情報の収集等においては、製造販売業者が行う医療機器の適正な使用のために必要な情報の収集に対して病院が協力するように努めること、及び医療機器について当該品目の副作用等の発生を知った場合において、保健衛生上の危機の発生又は拡大を防止するため必要があると認められる時は、厚生労働大臣に対して副作用等の報告義務があることに留意し当たっている。</p>	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年10回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>使用経験のない新しい医療機器の導入時及び特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる医療機器に関して、その有効性・安全性、使用方法、保守点検、不具合発生時の対応、並びに特に法令上遵守すべき事項に関する研修を定期的に行い、その実施内容を記録している。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>保守点検に関する計画を策定に当たっては、医療機器の添付文書に記載されている保守点検に関する事項を参照するとともに、必要に応じて当該医療機器の製造販売業者から情報を提供してもらい、機種別に保守点検の時期等を記載している。</p> <p>また、保守点検の実施に当たっては、その実施状況、使用状況、修理状況並びに購入年等を把握し記録するとともに、保守点検状況を評価し、必要に応じて安全面に十分配慮した医療機器の採用に関する助言、保守点検計画の見直しを行っている。</p> <p>なお、保守点検を外部に委託する場合も同様の対応を行い、実施状況の記録を保存している。内容については、別紙のとおり。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器の使用に当たっては、当該医療機器の製造販売業者が指定する使用方法を遵守するべく、医療機器の添付文書、取扱説明書等の安全使用・保守点検等に関する情報を整理・管理している。</p> <p>また、医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用に資する情報を製造販売業者等から一元的に収集し、得られた情報を当該医療機器に携わる者へ提供するとともに、管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報を収集し、病院長への報告等を行っている。</p> <p>なお、情報の収集等においては、製造販売業者が行う医療機器の適正な使用のために必要な情報の収集に対して病院が協力するよう努めること、及び医療機器について当該品目の副作用等の発生を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認められる時は、厚生労働大臣に対して副作用等の報告義務があることに留意し当たっている。</p>	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>評価の名称－ISO9001：2008，JISQ9001：2008（認証範囲：医療サービス）</p> <p>評価を行った機関名－ビューロベリタスジャパン株式会社</p> <p>評価を受けた時期－認証日：2014年3月27日 （初回認証日：2005年5月27日，有効期限：2017年5月17日）</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>毎年、「秋田大学医療フォーラム」を開催し、県民向けに医療や健康についての情報を発信している。このほか、病院ホームページや診療科案内等の充実を図っている。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>院内の他診療科に患者紹介を行い、患者の病状に応じて複数の診療科で治療を行うことが可能である。</p> <p>また、外来は1患者に対して1カルテであり、複数の診療科が治療を行う場合も治療歴等情報が共有できる体制になっている。</p>	

厚生労働大臣

殿

秋田大学医学部附属病院長
羽 淵 友

秋田大学医学部附属病院に関する変更について

標記について、医療法施行令（昭和 23 年政令第 326 号）第 4 条の 3 の規定に基づき、以下のとおり変更があったので届け出ます。

名 称	D I 室（医薬品情報管理室）
変更があった事項及びその内容	病院再開発整備計画の進行に伴う D I 室（医薬品情報管理室）の移転。
○D I 室（医薬品情報管理室）の場所	変更前：第一病棟，外来棟，中央診療棟，高エネルギー棟 1 階 変更後：第一病棟，外来棟，中央診療棟，高エネルギー棟 2 階
○D I 室（医薬品情報管理室）の面積	変更前：87.00㎡ 変更後：222.80㎡ 変更年月日：平成 26 年 7 月 22 日

- (注) 1 必要がある場合は続紙に記載して添付すること。
2 開設者名の記入箇所及び「名称」欄には、変更があった場合は、変更後のものを記入すること。
3 「変更があった事項及びその内容」欄には、変更があった事項を明らかにした上で、その事項についての変更のみを、変更前と変更後の内容を区別して下記により記入すること。
① 開設者の氏名及び名称の変更については、変更前のもののみを記載することとしても差支えない。
② 診療科名の変更の場合は、医療法施行規則第 6 条の 4 に掲げる診療科名をそれ以外の診療科名よりも先に記入し、削除又は追加された診療科名に下線を付すこと。
③ 集中治療室、無菌病室等又は医薬品情報管理室の構造設備の変更については、承認申請書に記載することとされている事項に係る変更のみを変更前と変更後のそれぞれを区別して記入すること。なお、集中治療室、無菌病室等又は医薬品情報管理室を有しなくなった場合にはその旨を記載し、固定式の無菌病室や専用の医薬品情報管理室を新たに設けたなどの場合には承認申請書に記載することとされているものと同じ事項について記入すること。
(記載例：50 床増床し、集中治療室にペースメーカーを導入した場合)
病床数
変更前：550 床
変更後：600 床
集中治療室に備える機器
変更前：人工呼吸装置、心電計、心細動除去装置
変更後：人工呼吸装置、心電計、心細動除去装置、ペースメーカー